

令和7年度 住之江区区政会議

第1回 防災・安全部会 会議録

1 開催日時 令和7年5月15日（木）19時00分から20時00分まで

2 開催場所 住之江区役所3階 第3-1、3-2会議室

3 出席者

〔区政会議委員〕

岡田 晋吾 委員、五十崎 晴久 委員、清水 ちどり 委員、

中川 隆夫 委員、濱島 孝夫 委員、松岡 孝 委員

（出席6人／定数8人）

〔住之江区役所〕

玉置 信行 副区長

戸井 正人 防災安全担当課長

峯上 和博 防災安全担当課長代理

4 発言内容

○戸井防災安全担当課長

それでは、皆さま、こんばんは。

定刻となりましたので、令和7年度住之江区区政会議第1回防災・安全部会を開催いたします。事務局の住之江区協働まちづくり課防災安全担当課長の戸井でございます。本年4月より着任いたしました。今度ともどうぞよろしく願いいたします。

報告事項が1点ございます。令和7年4月1日に、新しい住之江区将来ビジョン

を策定いたしました。

つきましては、これまで「備える部会」でございましたけれども、今回より部会名称を変更いたします。本会は「防災・安全部会」として活動してまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、本日ご出席いただいている委員をご紹介いたします。お手元の名簿にてご確認ください。

会場にお越しいただいている委員は、岡田部会長、五十崎委員、清水委員、中川委員、濱島委員、松岡委員です。

本会議は、午後7時現在、全委員8名中6名のご出席をいただいておりますので、定足数である委員定数の2分の1以上を満たしておりますことをご報告いたします。

住之江区役所の出席者につきましては、4月の人事異動で副区長に玉置が着任しておりますので紹介いたします。

○玉置副区長

皆さん、こんばんは。お忙しいところ、ありがとうございます。玉置でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○戸井防災安全担当課長

その他の住之江区役所の出席者につきましては、配席表にてご確認ください。また、発言する際には役職と名前をお伝えいたしますので、よろしくお願いいたします。

この会議には、個人情報などの非公開情報はございませんので、公開とさせていただきます。また、本日の傍聴者はおられません。

なお、大阪市では、近年の気候変動対策をはじめとする環境施策や職員の働き方改革の観点を踏まえまして、軽装勤務の通年化を実施しております。気温や体調等に応じた快適な服装での会議出席となりますので、ご了承ください。

本日の内容は、6月19日木曜日に開催予定の区政会議全体会で部会長からご報告をいただき、情報共有を図ってまいりたいと考えております。

また、議事録につきましても後日公表となり、公表する際は発言者と発言内容についても公開されますので、ご承諾いただきますようお願い申し上げます。広報や記録のために写真を撮影いたしますので、併せてご了承のほどよろしくお願ひいたします。

それでは、本日の資料の確認をお願いいたします。

まずは1枚物の「次第」でございます。その次は「委員名簿」でございます。次は「配席図」でございます。次が資料1としまして、カラー刷りのホチキス留めの「住之江区運営方針振返り（案）について」でございます。最後に、これもカラー刷りですけども「区政会議について」ということで、「地域活動協議会について」の裏面に書いてございます。

不足はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

本日の会議ですが、現在、策定に向けて進めております「令和6年度住之江区運営方針振返り（案）」についてご報告し、今年度以降の各取組につなげていけるようご意見をいただきたいと考えております。

時間は、本日20時までの1時間を予定しております。スムーズな議事進行にご協力をお願い申し上げます。

なるべく多くの委員からご意見をいただきたいと思ひますので、1回当たり2分を目安でご発言いただけますと幸いです。2分が経過しますと、事務局からお知らせいたしますが、ご協力をよろしくお願ひします。

それでは、議事を開始しますので、部会長にお任せいたしまして進めていきたいと思ひますので、岡田部会長、よろしくお願ひします。

○岡田部会長

それでは、部会の議事を進めさせていただきます。

本日は、先ほどご説明がございましたけれども、令和6年度住之江区運営方針振返り（案）ということについて議論していただきたいと思ひます。

早速ですが、事務局のほうから説明をしていただきたいと思います。お願いいたします。

○戸井防災安全担当課長

すみません。先ほど申し上げましたカラー刷りのこの振返り（案）をご覧ください。

この運営方針につきましては、住之江区が重点的に取り組む課題を挙げて、この課題を解決することを目的とした取組を掲げたものとなっております。令和6年度も子どもに関すること、地域と福祉に関すること、防災防犯に関することの3つの経営課題を掲げていました。

当部会では、そのうち経営課題3の安全・安心なまちづくりについてご議論いただくこととなります。

資料には、この課題でめざす主なSDGsゴールを掲載しておりますので、ご参考をご覧ください。

それでは、具体的な説明に入らせていただきます。

1枚めくっていただきますと、「令和6年度住之江区運営方針振返り（案）」についての概要を簡単にまとめたものをつけさせていただいております。

これまでの取組の課題と方向性を踏まえた令和6年度の振返りを記載し、特にご意見をいただきたい箇所については赤枠で囲んでおります。

この資料に基づき説明をさせていただきます。

それでは、右下のところ、1ページをご覧ください。

こちら一番上に書いています経営課題3「安全・安心なまちづくり」ということで、めざす成果及び戦略ということで一番上にございます「3-1災害に負けないまちづくり」と、真ん中中段以降にあります「3-2犯罪のない安心して暮らせる環境の実現」がございます。

具体的取組としまして、それぞれ2項目、3-1と3-2のそれぞれに2項目用

意しております。

まず、上段のほうの「3-1 災害に負けないまちづくり」、こちらは防災に関する取組になっております。

詳細は4ページのほうをご覧ください。

全体にかかる長期的な計画の指標としまして、令和7年度末までに区民アンケートで「お住まいの地域や家庭で災害に対する備えができています」と回答する割合が60%以上に対しまして、自己評価欄に記載の令和6年度の指標の達成状況としまして、区民アンケートでは、「家庭で災害に対する備えができています」と回答した割合が79.2%となっております。区民アンケートで「お住まいの地域で災害に対する備えができています」と回答した割合が39.8%で、こちらの2つの指標の中のいずれかが備えができていますということにめざしておりますので、指標は「達成」と考えております。今後も広報紙やチラシ等の紙媒体による啓発を継続するとともに、防災アプリや避難カードについて、防災に関する研修、訓練など、様々な機会を活用した啓発に努めてまいりたいと考えております。

次に、5ページをご覧ください。

こちら、3-1の一つ目の具体的取組でございまして、「3-1-1 自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成」の項目になっております。

取組実績につきましては、地域の人材育成として、地域防災訓練の実施、中学校をはじめ、小学校等で訓練や学習会を実施、前年度に引き続いて出前講座の実施や地域防災リーダーを対象とした研修会を実施し、広く区民向けには広報紙への特集記事の掲載や区防災マップの全戸配布を行いました。

指標の区民アンケートにおいて「自宅の浸水想定を知っている」と回答した割合が60%以上に対し、達成状況は55%と「未達成」でございました。その課題としましては、浸水想定等の災害対応知識や地域の防災訓練に参加していただく啓発につきまして、効果的な方法を検討する必要があると考えております。

改善策としまして、大和川の氾濫及び南海トラフ巨大地震による津波浸水の被害想定2種について、その地点の浸水深を表記した浸水深カードの掲示や「大阪防災アプリ」「避難カード（携帯版）」等を活用し、住之江消防署とも連携しながら、地域・学校・企業等への出前講座や訓練説明会等の機会を捉えて周知を行ってまいります。

次、少し飛びまして9ページをご覧ください。

こちらは具体的取組の2つ目の項目でして、「具体的取組3-1-2減災のための環境整備」についての項目です。こちらは、防災パートナーや津波避難ビルの登録の拡充に向けた勧誘、津波避難ビルや災害時避難所の表示板の整備などに取り組み、指標の「防災パートナー新規登録2件以上」に対しまして、達成状況は4件の登録となりました。

今後も防災パートナーや津波避難ビルの登録の必要性を継続して啓発する必要があると考えておりまして、企業・NPO・学校・地域交流会などの機会を捉えまして、協力いただける企業などの拡充に向けた声かけを積極的に行ってまいります。

次に、11ページをご覧ください。

こちらは大きな項目の3-2のところになります。「3-2犯罪のない安心して暮らせる環境の実現」についての項目です。

全体にかかる長期的な指標としまして、令和7年度末までに、区民アンケートで「安全・安心に暮らせるまちである」と回答する割合が80%以上に対しまして、達成状況は78.9%と「未達成」となっております。

課題としましては、特殊詐欺の手口は多様化しており、注意喚起や啓発を継続して行っていく必要がございますので、改善策としまして引き続き警察と連携し、防犯出前講座や詐欺被害防止キャンペーンの実施、SNSを活用した啓発を行ってまいります。

次に、12ページをご覧ください。

こちら、3-2の一つ目の項目でございまして、「3-2-1 防犯意識の向上に向けた啓発」についてです。特殊詐欺被害防止録音機の貸与、特殊詐欺被害防止キャンペーン、防犯出前講座等を実施しましたが、指標の区民アンケートで「区の実施は区民の防犯意識の向上に役立っていると思う」と回答する割合が70%以上に対しまして、達成状況は55.9%と「未達成」でございました。

課題としまして、区の実施が区民の目に触れる機会・頻度が少ないこと、または方法論として効果を感じてもらえていないことが考えられるため、改善策としまして、防犯啓発動画を使用し、すみのえ情報局など、ICTを活用した啓発や、住之江警察と連携して年金受給日に合わせたキャンペーンを行うなど、詐欺被害防止の啓発を強化していきたいと考えております。

次に、13ページをご覧ください。

こちら3-2の二つ目の項目でございまして、「具体的取組3-2-2 街頭犯罪抑止のための環境整備」についてでございます。

青色防犯パトロールの効果的なコースの設定、ひたたくり防止カバー取付キャンペーンの実施、また防犯カメラの適正な運用を行いました。指標の区民アンケートで「区の実施は街頭犯罪抑止に効果があると思う」と回答する割合が70%以上に対しまして、達成状況は63.8%で「未達成」でございました。

課題としては、一つ目の取組と同じく、区の実施が区民の目に触れる機会・頻度が少ないこと、または方法論として効果を感じてもらえていないことが考えられますので、改善策としまして、街頭犯罪抑止に係る取組や周知を継続的に行うとともに、防犯カメラについて計画的なメンテナンスを実施してまいります。

ここで、前回のご意見の共有ということで、前回の部会や全体会でいただいた意見を少し振り返らせていただきたいと思いますと考えております。

ですので、すみません。また戻っていただいて、6ページをご覧ください。

委員からの意見のところの上からでございますけれども、自助、共助で物資を備

えるにあたり、キャンプ用品の活用方法などを紹介する機会をつくるなど、構えることなく備えることができるフェーズフリーという考え方を取り入れてはどうか、また、高層マンションの多い地域であることから、マンションごとの備えが重要であり、避難所の備蓄に頼るのではなく、個人の備えが重要であるとのご意見をいただきました。

その対応方針としましては、右側の欄に書いてございます、大阪市では、食料品や水などの備蓄を1週間程度備えるよう市民防災マニュアル等で啓発しており、フェーズフリーな備えの一つとして、缶詰やレトルト食品など日常生活で消費するものを少し多めに買い置きして、賞味期限が近づいたものは食べて、食べたものを補充するというローリングストックの実践を推奨しております。

引き続き、防災訓練や出前講座等の機会を捉えまして、自助の重要さやフェーズフリーの考え方等、災害に対する備えについて啓発してまいりたいと考えております。

次に、7ページをご覧ください。

こちら左側の委員のご意見からご紹介します。マンションの悩みとして、要支援者を支援しながら垂直避難を行う際の移動方法に苦慮している、よい方法が見つからないため、垂直避難の移動方法を防災リーダー研修で学べるとありがたい、また、防災リーダー研修で、大阪公立大学などの専門家によって感震ブレイカーの取組や、災害時のペットの取扱いの取組などを紹介してもらうなど事例共有をしてはどうかとのご意見がありました。

右側の対応方針としましては、地域防災リーダーを対象に、自主防災組織が行う災害応急対策や防災活動に必要な知識及び技術の習得等、役割に沿った研修を年に3回程度実施しており、垂直避難の移動方法や専門家による事例共有なども含めて、引き続き有効な研修方法を検討し実施してまいりたいと考えております。

次、8ページをご覧ください。

マンホールトイレについて、照明の用意や設置後の掃除などの管理はどこが行うことになっているのか。また、避難所にマンホールトイレの代わりとなるようなもの

を置いてほしいとのご意見がございました。

対応方針としましては、マンホールトイレで活用する照明やトイレットペーパーなどの備品の用意は行政が行います。設置後の掃除などの管理につきましては、基本的には行政を中心に地域の皆さまのお力もお借りしながら実施してまいりたいと考えているところです。

また、避難所のトイレとして、備蓄倉庫に組立式のトイレを10台配備しており、発災後おおむね3日後には設置タイプの大きなトイレが運び込まれる予定となっております。また、避難所のトイレの便座が使える状態でありましたら、袋と凝固剤を使って便を処理する排便処理セットを備蓄倉庫に配備しております。

減災の取組についてでございます。10ページをご覧ください。

防災パートナーとして、住之江公園駅近隣にあるホテルや南港にある企業に協力いただいております。どうかとのご意見がございました。

対応方針としましては、住之江区では地域貢献を行う意思を有する企業・事業所・NPO・ボランティア団体等を事前に登録し、災害に強いまちづくりを推進することを目的に「住之江区防災パートナー」を募集しており、令和6年度末現在で22社に登録していただいております。引き続き、防災パートナーの増加に向けて啓発し、依頼を行ってまいりたいと考えております。

防犯の取組についてのご意見は、ございませんでした。

最後に、ご意見をいただきたい事項としまして、防災は備えが重要と考えておりまして、災害の被害想定を把握して、平時から住居の手入れや家具の固定、避難先の相談、簡易トイレを含む備蓄物資、非常用持ち出し袋、緊急時の連絡手段の相談などを行っていく必要があると考えております。

助かるためには、自助・近助・共助・公助のいずれも重要だと考えており、近所付き合いも備えの一つであり、平時から取り組んでいく必要があると考えております。

様々な世代のより多くの方に、防災・防犯に備えていただくために有効な情報発

信の方法について、皆さまにおかれましては、どんな周知・啓発・案内があれば取り組もうと思われるかというところと、現在の防災・防犯に関する啓発内容及び啓発方法に対するご意見、ご提案がございましたらと思っております。

以上です。よろしくお願いいたします。

○岡田部会長

ありがとうございました。

ただいま事務局から説明をいただきまして、事務局のほうからもございましたようにご意見をいただければと、提案ということでございますけども、先ほど事務局からも説明がありましたように、1人1回2分程度でよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、皆さんのほうからございましたら挙手していただき、お願ひいたします。

○五十崎委員

すみません。2分は難しいですね。一応幅広い世代ということで、私の仲間でもいろいろ聞きました。

高校生、20代の声なんですけども、やはり圧倒的にSNSの発信、YouTube、X、T i k T o kが届きやすいと。ただ、問題として、目に入っても興味を引かなければあまり印象に残らないという点があるということです。興味のないことについては全くと言っていいほど無視する風潮もということで、発信の仕方はやはりSNSが断トツだということです。

あと、30代の声としたら、これもちょっと変わってるんですけど、一つの手段としてエンタメの力、映画やドラマ、芝居、これは私も去年行ったんですけども、岡田部会長もお誘ひして、住吉区の防災イベントが去年あったんです。そこで子どもの劇団が防災についての啓発活動のそういう劇をやっておりました。そういうことも一つの手段としていけるんじゃないかなということです。

それから私も踏まえ中高年の高齢者の声なんですけど、お金がかかるデメリット

があるが、高齢者向けとしたら町会の回覧、掲示板、賃貸会社経由のチラシ関係などが有効であるということで、ご意見をいただきました。

以上です。

○岡田部会長

ありがとうございました。

○五十崎委員

この間、地域でちょっと話し合っただけで環境局でふれあい何だったかな、助けてもらえる、高齢者が家具なんかを申し込んだら、65歳以上という限定があるんですけども、環境局から手伝いに来て、それを引っ張り出してくれるということで、その利用を活用したらどうかということで、結局、高齢者のお一人住まいの方の要らないもの、ふれあいや安否確認のサービスってなってますね、環境局の。それを使ってちょっとでも荷物を減らして、それも防災減災につながるということでいいんじゃないかということで、荷物を少なくするという事は。

○岡田部会長

はい、ありがとうございました。

そのほかでございましたら、お手を挙げてください。

はい、濱島さん。

○濱島委員

監視カメラの件なんですけど、2年前にお話ししたんですわ。南港にある桜小学校から中ふ頭まで行く間に監視カメラは10台以上付いている。ちょっと東側に南港北中学校があるんですが、そこには1台もついてない。これはどうしたのですかという話をしたんですけど。

○戸井防災安全担当課長

私も担当者に確認しますと、今おっしゃるように、中ふ頭に向かうまでは今把握しているところと言うと2台ほどございまして、濱島委員がおっしゃってるのは裏側

というか何て言うんでしょうか、こちら側になりますね。

○濱島委員

小学校の方向から中ふ頭まで、歩道のところですよね。

○戸井防災安全担当課長

民間の団体名が記載されている、こんな柱のやつってご存じですかね。

○濱島委員

いえいえ、そんなのは。

○戸井防災安全担当課長

こういう電柱に貼ってある監視カメラが数台あるというふうに伺っております、私も実はまだ現地は確認していませんけれども、そのように伺っておりますので、また私も現地を見ておきたいと考えておりますので、すみません。

○濱島委員

周辺をちょっと見てほしいです。

○戸井防災安全担当課長

そうですね、また見ておきます。

○中川委員

これ、コスモ地域からね、来ますからね、生徒が。こっち側に北中学校がありますので。

○戸井防災安全担当課長

これでこの辺の。中ふ頭がここ。これがね、現在設置してるやつなんですけど、この辺にもあるんだという話を伺ってますので。そうですね、また確認させていただきます。

○中川委員

防犯カメラというのは、学校近辺には全部あるんですかね。私、見て回ったわけじゃないですけど。

○戸井防災安全担当課長

全部あるかというのはちょっと、私もまだ把握はしてないんですけども。

○中川委員

前に一度、ポートタウン東からずっと防災のために歩いたんですよ。あるところは分かったんですけど、本当にたくさんは付いてないです。

○戸井防災安全担当課長

小学校のところ。

○中川委員

小学校のところもそう。道路のある駅の近くまで、いろいろここに付いてます、ここに付いてますってあるんですけどね。あと、公園の自動販売機があるところの上にも付いてますね。

○戸井防災安全担当課長

そうですね。どれぐらいあるかというのは、私もまだ確認したところではございませんので、また見させていただきます。

○岡田部会長

そうしたら、私のほうからしゃべらせてもらっていいですか、2分以内でということ。

一応2年間いろいろこの備える部会をやらせていただいて、今名前が違いますが、もうこれで終わりなんですけど、ちょっと最近感じているのは、やっぱり町会加入率の少なさとか、それとかご存じのように高齢化してる。となるとですね、やっぱり防災に関しても助ける側の人がいなくだんだんなってくる。それと参加率も少ない。先ほどおっしゃった高校生なんかSNSとか、ああいうことも今後はせなあかんとは思ってるんですけど、所詮、もうだんだんと、僕は地域単位での今メインで多分活動をなさってはると思うんですけど、地域では無理で、もう町会レベルまで落とさなあかんのちゃうかと。できるだけ縮小したところで助け合いをやるようにしたほうが

いいのではないかと。人間が多いときは連合単位ね、今で言えば地活協単位ですけど、あそこに人をボーンと集めて、みんないろんなところに行きなさいとか言えるんだとは思いますが、もう今は町会の、自分の町会だけでも精いっぱい。人数がいらないのに、地域までいかないんじゃないかと。ただ、地域については、情報収集とか非常に重要になる業務があるので、ちょっと何かその辺を一回、もう一度見直してもいいんじゃないかと。今はそこまで書かれてはないんですけどね。

それとか、やはり先ほども言いましたけど、どうしたら興味を引けるかと。やっぱりVRとか、ああいう映像を取り入れるほうがいいんじゃないかと。座学だけでは、人間、緊迫感がない。昔ちらっとお話ししたかも分からないですけど、泉大津なんかはポストのところにそれを、VRのQRコードか何かあって、それを写すとこの辺がどれだけ浸水するんですよというのが分かるようになっている。ということで、2分が来ましたので、ちょっと途中で終わりにしたいと思います。

○濱島委員

なかなか終わっちゃったら駄目。

○岡田部会長

やっぱりそのVRとか、先ほどもちらっとおっしゃったこともあるんですけど、映像でないと文章ぐらいでは誰も緊迫感がない。この間、津波・高潮ステーションってありますよね。あそこで映像のやつを見たんですけど、やっぱりあれを見ると少しやっぱりちょっと怖いなど。だから、そういうのをこの町会単位にそのVRの出前講座とかねいうようなやり方でないと、座学では。それと小学生に見せるのがいいかどうかはあれですけど、小学生にもああいう映像を見せて、怖いんだよと、だから備えるんだというような、何かがあればなと思ってるんですけどね。

○五十崎委員

津波・高潮ステーションのあの映像ね、僕も1回聞いたんですよ。DVDかどこか貸出ししてませんかと言うたら、やっぱりやってないみたいです。

○岡田部会長

それが今ね。

○五十崎委員

やっています？

○岡田部会長

ネットでやってるってなってる。

○五十崎委員

上がっています？

○岡田部会長

はい。そうしたら、うちもそれを映すやつがないなって。それをまず買わなあかんとかいう話を。町会単位でやるにしても。

○中川委員

だけど、今、町会単位っておっしゃいますけど、もう町会自体が何人しかおらんとか、入ってないとか。

○岡田部会長

でしょ。

○中川委員

そういうのを町会単位でやっても、結局は、それよりマンション単位とかね、そういうことでしかできないと思うんです。お年寄りはいもう出てきません、はっきり言って。だから、海の町のほうは民生委員と防災リーダーが中心になって、区役所から上がってきますやん、要何とかカードの。あの人のところへ行って回って、確認してどうします。どういうときにご利用なされますかとかありますから、普通ときは要らん、災害のときは来てくれとか、そういうふうな、ちょっと今は途切れてますけど、そういう形でやっています、上がってきたリストの。

○戸井防災安全担当課長

リストでということですか。

○中川委員

そうです、そうです。だから、そのリストですけど、それ以外にはいらっしゃるかも分かりませんが、取りあえずそこからまず固めていく。また盛り返してやるようにやっております。

○岡田部会長

それとか。できたら割と役所に、今、役所はお助け隊とかいうてね。住み何とかいう芸人とかいうのもありましたですね。そのぐらいならやっぱり町会単位というか、範囲が狭いところに集中的にここを教えていただくような、助ける人をね。防災士さんもいらっしゃるし、そういう人を使うのも一つの手だし、それとか役所の人もおつてですけど、そういうので割と小まめにもうやらないと駄目ちゃうかなと。

○五十崎委員

今、ちょっと防災士の話が出たんですけども、この住之江区ではやってないんですけども、大阪市内7つの区で、防災士の名簿を集めて、ある7つの区では協力してもらえませんかというアンケートを流してられるところがいてはるので、そういうところは防災士が。防災士会の所属してる有無に関わらず、認証している防災士全員を対象としたそういうアンケートを採られるところもあるということで、その辺の活用も先ほど部会長がおっしゃったように大事かなと思う。

○戸井防災安全担当課長

それも先行してる区から今年度住之江区も実は取り組む対象になってございまして、さっき五十崎委員がおっしゃったように、今年度、地域とつなぐ取組を進めてまいりたいと考えております、はい。またご協力をお願いします。

○五十崎委員

そうですか。ありがとうございます。そういう情報が入ってきますので。

○戸井防災安全担当課長

よくご存じですね。

○濱島委員

防災士よりか防災リーダーのほうが、町会でいろいろお願いしたんです、聞こえますかね。私ところのマンションでも141世帯あって私1人ですよ、防災リーダー。

○戸井防災安全担当課長

1人ですか。

○濱島委員

いや、普通は二、三人おったらいいんですけど、そんな状況ですから。防災リーダーをまずは入ってもらうようなことを何かうまいことできないかなと。

○戸井防災安全担当課長

まずは防災リーダーを。

○濱島委員

はい。ですから、今度7月26日に花の町で夏祭りをするんですが、そういうときに啓発活動で、そういう防災リーダーとか、ひったくりとか防災もありますので、役所のほうから警察等からとか何か。

○戸井防災安全担当課長

何らかの啓発とかね。

○濱島委員

ええ。

○岡田部会長

ただ、なかなか地域防災リーダーって、あれですよ、高齢化もしてるし、それと人数がね、さっきおっしゃった人数が足りない。だから、地域防災リーダーに頼っても僕は無理かなと。それこそ防災士さんみたいな、もういてはる人を使うというほうが。いや、地域防災リーダーも1人や2人とかはいいんですけど、ぎょうさん増やしても、その人を教育するためにはどれだけの労力を使わなあかんかと。

○中川委員

そやけど、それだけ意思のある人やったらね、やろうかと言って出てくる人やったら何かしてくれると思いますけどね。それがもう、今だったら名前だけになってしまつて。

○岡田部会長

ええ、だから。

○中川委員

マンションで、昔はその棟ごとに何人かありましたもんね。

○岡田部会長

うん、そうです。

○中川委員

今はもういうたってお一人とか。うちのほうは3人おりますけど、地域によってはいろいろ人数にもかなり差が出てきますわね。

○戸井防災安全担当課長

そうですね。区、住之江区全体で申し上げますと400名程度いらっしゃるんですけど、今おっしゃるように地域ごとっていうと、多い少ないって大分差があるのかもしれないですね。どういう形で地域ごとにリーダーの登録に声かけされてるのか、私も不勉強であれなんですけど、400名が多いのか少ないのか地域にとって分からないんですけれども、多いに越したことはないですから。

○岡田部会長

さざんかの会報に載ってましたね、そういう防災リーダー。

○中川委員

載ってましたね。何か載ってましたね。

○濱島委員

見た覚えがないような気がする。

○戸井防災安全担当課長

覚えてないですか。

○岡田部会長

なかなかやっぱり、うちもマンションから町会へ3人は出してるんですけど、もう高齢化もあるし、それと、やっぱりプロフェッショナルじゃないですよ。何ぼ研修してもやっぱり。

○戸井防災安全担当課長

推薦方式です。

○岡田部会長

そうです。それがなかなかちょっと難しいなとは思。

それとさっき言いましたように、町会加入率が少ないということはね。

○戸井防災安全担当課長

そういうことですね。

○岡田部会長

結局50%の中から地域防災リーダーを作っても、とかなりますよね。

○戸井防災安全担当課長

そこにつながってくるんですね。

○岡田部会長

だから、そこをどないしたら。加入率を増やすしか、もう災害対策がないんちゃうんか。

○戸井防災安全担当課長

そこにつながってくる。

○中川委員

町会も年がいったら、役が回ってくる、それが嫌やっていう人もおるでしょう。

○岡田部会長

そうそう、そうです、そうです。

○中川委員

若い人にやってもらって、若い人なんていつもおらへんっていうことになって、子どもの祭りみたいなものに引っ張り込んで、出てきたときに、その機会を整えて、何かこう啓発できたらとさっきおっしゃられたね、そんなことが必要なんだろうかと。

祭りは一応出てくる、親も出てきますので。年寄りの祭りしても年寄りばかりやからね。

○戸井防災安全担当課長

そこに町会加入率もありますね。

○中川委員

私も年寄りに入ってますから。

○岡田部会長

それとやっぱり東北とか今は能登とか、体験なされた人の言葉というのが非常に重みがあるんで、そういう避難所ではこういう問題がいっぱいあったけど、どう改善したとか。

○中川委員

この間の防災リーダーのときに、研修会のときに来てもらったんですね。

○戸井防災安全担当課長

はい。

○岡田部会長

ええ。だからそれを。

○五十崎委員

僕もそれ出ましたね。

○岡田部会長

それが下まで降りないと駄目ですよ、基本的に。地域防災リーダーだけが上になっても駄目で、いかにして一番下の末端まで情報を届けるかという。大変難しいと思うんです。

○中川委員

そこまで必要なのかなって、逆にいうと。

○岡田部会長

もう近助って言ったらもうそれしかないと僕は思ってるんですね。だから、今防災リーダーの話は共助ぐらいだと思ってるんですけどね。近助というのはほんまにマンション単位ぐらいなイメージを持ってるんですけど、そのマンション単位でもなかなかそれが難しい。

○中川委員

そこに防災リーダーが1人でもおったら、その人があれなんかもできると思うんですけどね。全然ないところもいっぱいありますよ。

○岡田部会長

あります、あります。

○中川委員

偏ってますから。あんまり防災リーダーいないから分かりませんがね。ただ、マンション自体は、防災とかそういうあれが整ってないところと整ってるところがありますからね。

○戸井防災安全担当課長

差はあります。

○中川委員

備蓄をやってるところとやってないところがありますから、それは当たり前にもうしてくれと言ってますけど、なかなか。

○岡田部会長

それと前に垂直避難の、委員のほうから、僕が言ったと思うんですけど、あったんですけど、この間の防災展に行ったら一つこういうのを見つけたんですけど、担架は担架なんですけど、下にプラスチックの板が入ってるみたい。だから、階段を引きずって上がれるというのが前からあったと思うんですけど、この間たまたま防災展に行ったら。そういうこともすれば、車椅子みたいなあれでなくて引っ張り上げやすいなど。

○五十崎委員

それは体験しました、実際に。

○岡田部会長

どうです。やっぱりこれのほうが車椅子よりは。

○五十崎委員

同じものかどうかは分かりませんが、エアが入っていて痛みが少なく、上げるのに。僕は中へ入って引っ張ってもらったんですけど。

○岡田部会長

これは何。何かプラスチックの板ですよ。プラスチックの板みたいなのが底に付いてて引き上げるような。ただ、20万円ぐらいするんですよ。

○五十崎委員

そうです。

○戸井防災安全担当課長

そんなするんですか。

○五十崎委員

そうです、高いんですよ。

○濱島委員

エアーストレッチャーは本当にね、20万とか。

○松岡委員

ええ値段するな。

○中川委員

女性たちは、このほうがいいんじゃないですか。

○岡田部会長

うちのマンションだったら400世帯あるから、一つじゃ済まないから。

○五十崎委員

そこの業者から、何かイベントのときに声をかけてくれ、ただで行きますからいうて言われても、値段が高いんでね。

○濱島委員

最近の車椅子なんか電動で重たいでしょ。その人を引っ張り上げるなんて、年寄りが。

○戸井防災安全担当課長

津波避難の関係ですね。今度の防災リーダーのアドバンス研修というのがございまして、そこでまた内容を取り入れることにしておりますので、またそこでお伝えしたいと思います。

○岡田部会長

これも町会へ加入されてないマンションとか地域というのがあったとしたら、そこは一応防災のことは何もなさってないという理解になるんですかね。いや、たまたま。

○中川委員

私の棟は入ってないですよ。もう脱会してしまった。だから、私のところは防災リーダーが3人おりますので、何らかの形で掲示等はしてます。同じような掲示はしてます。だから、どこかが漏れてるということはないと思います。それをどれだけ見てくれるかですよ、もう恐らく。場所は分かっていますけど、ごちゃごちゃ書いてあるって言われたりする。

○岡田部会長

マンションならまだ何かあれなんですけど、一戸建てのところではほんまに町会加入率が50%以下になったとしたら、ぼつぼつですよ。そりゃだんだんと近助というところからも離れていくような気もするし、その辺はね、逆に言ったらマンションだったら何とかできるけど、一戸建てのほうは難しいなという気も。

○中川委員

飛び飛びで。

○岡田部会長

飛び飛びになったりするととかね、その辺が。

○中川委員

大和川の近隣のところなんかね。

○岡田部会長

どうなんでしょうなと思って。

○松岡委員

現実にね、うちは加賀屋東の、僕は今現在一つの町会長をやってるんですけど、平地なんです。だから、べたな家が多いんです。そのべたの中にマンションがぼつぼつとある。そのぼつぼつのマンションは大きなマンションで、町会も1班だけが加入してるとかね。だから、その何世帯、何百人も住んでるようなマンションで、僕の町会のほうに加入してるのは個人的に加入されてると。だから、そのマンションとしては全然連絡もないしね。だけど、もっと小さなマンション、それは全然町会とは無関係。だから、ほとんどがフラットな家よ。それで、そのフラットな家で、20年前は物すごい活発やった町会員の方々がもうみんなダウンというか、一人住まいで在宅介護と、もうホームに入ってらっしゃるとか。だから、空き室状態。その一角の中に10世帯があるようなコの字型の一戸建てがあるようなところで、半分が空き室状態、それから空き室。それから、その空き室が外国の名前、外国人の名前。だから、空き

室が外国人の名前になって、町会とは全然疎遠な地域。それがね、前はベトナムとか日本人の人が借りてそこに住まわせてやっってるようなあれがあったけど、今は完璧な外国人の名前になってるところが何軒もある。

○中川委員

うちのマンションでも、空き室はもう中国人が借りてます。

○松岡委員

そうそう。だから、空き家ではないけど、全然もう。

○岡田部会長

コミュニティはないということですね。

○松岡委員

ないんです。逆に怖いね。何が、夜中にちょっともうひとつ。

○中川委員

防犯のほうで怖いね。

○松岡委員

そうそう、そっちのほうも怖いし。だから、だんだんそういうふうなね、ちゃんと表である程度の間がちゃんとした形で住めるようなところよりも、ちょっと奥地に入った裏のところがそういう住まれ方をしてる。売り方も買い方ももう僕らの知らん世界なので、それはちょっと怖い。

○五十崎委員

最近なんかそういうところがね、中国のコミュニティが出来上がってる形。

○松岡委員

だから、そういう民泊とかいうような、ちょっとした建物にはなってない。もうそのまま、何十年も前に建ったコの字型の一角とかね、そういう世帯が出てきてる。ちょっとそういうところと、どういう付き合い方をしていったらいいか。言われてることをそのまま地でいってるような感覚はありますね。

空き家で、この前言われたのが、新しい家に若い夫婦が越してきて、子どもができて、今小学生と幼稚園ぐらいの子どもがおると。自分のところのベランダに蜂が飛んでくると。この蜂が子どもらに刺せへんかどうか心配だから何とかしてほしいんやけどって電話がかかってきた。その電話がかかってきて最初に見に行ったときに、隣の空き家のひさしにも蜂の巣があった。その蜂の巣はアシナガバチ。キイロスズメバチというか、それだったら僕もよく分かるねんけど、アシナガバチは蜂の巣、そんな大きくない。ところが蜂そのものは凶暴性がある。だから、それをどうしたものかなと思ってね。民生委員もやってるから、区の民生委員のほうに最初、事務局に電話を入れたんですよ。ほんなら、「松岡さん、昆虫とかそういうのをやってる社団法人があるから、そこに電話してください」と。そこに電話して、ぱっと電話を受けたら、すぐ五、六万円ぐらいかかりますよと。そういう返事ですよ。そのひさしまでどれくらいの高さがあるんですか。五、六メートルです。そういう返事です。空き家だから連絡が取られへんでしょ。まちづくりセンターに電話したら、まちづくりセンターの子が見に来てくれて、その空き家の表に貼り紙、立派な貼り紙を作ってくれて、ビニールのきれいなやつ。空き室の方のもし連絡が取れるようでしたら区役所のほうからお願い事がありますので、電話1本いただけますかってきれいに貼ってくれた。それで2週間もせんうちに連絡が入って、実はこうこうこうで、ここに蜂の巣があるからと。その持ち主というのか、空き家の持ち主の人が処分させてもらいますって自分の手でされたと思うんですけど、きれいになくなってました。それはそれでよかったですけど、空き家問題というのはそういう何か訳の分からんことからいろいろ出てくるから、何が起こるか分からへん。

○岡田部会長

ありがとうございました。

清水さんのほうから何かございますか。

○清水委員

はい。先ほどからいろいろお話を聞かせていただいて、VR、映像で見るっていうのは、この間、町会のバスツアーでこの間どこでしたっけ、堺の防災センターに行かせていただいたときに改めて見て、みんなで防災意識が高まったなという感じがします。定期的なそういう取組は町会として行っていきたいなと思っています。

あと、もう本当にうちも子ども会も休止中ですし、再開のめども立っておりませんし、どうしたものかなど。地域の防災訓練、うちは住吉商業でやるんですけど、一生懸命やっていただいているんですけども、どうなんかなど。参加率も悪いですし、参加されてる年齢層も高くて、とても車椅子を上げるようなことができる人たち、何人いてはるんかという状態ですので、もう本当に学校のね、区内の7中学校のうち6校実施ということでやっていただいているみたいなんですけれども、住吉商業でやって何年前にやったときに、ちょうど部活で学校に来てた高校生がいてまして、その子らもおいでおいでって言って一緒に担架を毛布で作ったりとか、そんなのを一緒にやってもらったんですけど、やっぱりたくましが全然違うので、この学校教育の一環としてこういったものをどんどん取り組んでいていただきたいなって。防災リーダーの話も先ほどからたくさんありましたけど、本当にね、現状としては、うちの地域ももう名前だけで。

○岡田部会長

これから頼るのは中学生です。

○清水委員

そうですね。今からちょっと教育をして。だから、もう防災リーダーに何をとかいうのではなくて、いつどこで何が起こるか分からないので、防災リーダーだけに絞って何かっていうのではなくて幅広く、いろんな情報が一つでもね。だから、それこそビニール袋で三角巾代わりにやつを作るとか、そんな小さなことでも何でもいいんですけど、そういった情報を1人でも多くの人に共有をしていけたらなと思っています。地域としても連合としても、もう運動会も行えない感じになってきているので、

せめて町会で防災運動会、どこが一番早くバケツリレーができるかとかの範囲でできたらなとは思ってるんですけども、なかなかそこまでいってないのが現状です。

○中川委員

昔、緑地区と海の地区が一緒になって、一時、中学生をリーダーで「ヤング防災リーダー」ってやったんです。また壊れてしまったか分からないですけど、その子らが小学生とか幼稚園児を連れて家まで帰るとか、そういう取組をしたことがありました。それこそ潰れたか分かりませんが、またそれを復活させて、ヤング防災リーダーっていうあれは残ってると思うんですよ、中学生を中心に。

○清水委員

やっぱりね、いろんなどころのお話を聞かせてもらう中で、やっぱり地域でしっかり連携ができてるところというのは被害も小さく収まっているようなので、しっかり取り組んでいきたいなと思っています。

それで、私の知り合いの会社さんで企業さんなんですけど、企業さんも地域の防災訓練に参加されておられるっていう話を聞きまして、特にその企業さんが大したことはできへんけれども、自分のところにある資材を使って、段ボールとかそういったものを提供したりとか、そういう訓練の誘導のお手伝いとかできるように防災訓練に参加してますという話を聞いたことがあるので、また地域的にそういう場所があって、そういう企業さんがあったら協力をお願いしたいなと思っています。

以上です。

○岡田部会長

ありがとうございます。そろそろ。

○五十崎委員

今、企業のところでお話があったから、住之江区って結構重機を扱ってる企業さんが多いので、やっぱり区長さんの営業努力で何かその辺連携させて、できたら協定を結んで、いざというときは重機を出してもらって道路の啓発とか真っ先にやっても

らったりね。アウトドアの会社もありますので、あそこは何かやられたという形で聞いているんですけど、そういう企業とかとタイアップして、どんどん区の防災力を上げるというのが大切やなと思います。

以上です。

○岡田部会長

ありがとうございました。

何かいろいろ問題がありすぎて、今日が最後というのに。ありすぎて、今後本当にどの方向に次の人が進んでいったらいいのかが分からなくなったと思いますが、なかなか難しい。名前が、今度は「防災・安全部会」という名前になりましたから、今までは「備える部会」っていったら何かなと思ってる人がいっぱいいらっしゃる。これだったら、一応防災と安全をやっているなというのが分かって、非常に名前としてはいいなと思って。

○玉置副区長

本当に今日はありがとうございます。いろんなご意見も拝聴できたかなと思います。

幾つかあって、本当にもうはっとさせられることばかりだったんですけど、外国籍の方のお話もあったかと思うんで、外国籍のほうは区長も今、先進的にやっておられる区が、要は外国籍の方が転入してきたときに防災とか、こういう英語とか中国語とかで書いてあるような簡単なパンフレットではありますけど、今現状では転入とかしてきても日本語で書いてあるものしか全部私らは渡してないので、それは今後いろんな多言語で書いてあればいいな、やさしい多言語にしてる。書いてあるチラシとかも配って、そこにはQRコードとかも載せているので、そういったところで英語とかほかの言語でも見れるようなことを、こういうところを見たら分かりますよみたいなことを、そういうチラシもやっぱり配っていかなあかんのちゃうかっていうふうな意識を今、ようやくかもしれませんが持ったりしようとはしてますので、それを知ら

せようと思いました。あと清水委員がおっしゃっていた地域と、要は小中学生とか高校生とか子どもたちということですが、私が逆に4月に住之江区に来たばかりで申し訳ないですけど、逆に教えていただきたいんですけど、皆さんのところ、大体小中学校とか高校というのは必ず避難訓練とか防災訓練というのは必ず年間実施してますけども、大体そこと何か合わせて一緒に何か地域の方とやってはるとかっていうのはあるんでしょうかね。といいますのも、私ずっと3月まで西区におりましたけど、西区は別に全ての地域が全ての学校とタイアップして同じ日にコラボレーションしてやってはるわけではないんですけども、ただ一緒に、本当にコラボレーションしてやってる地域もありまして、そういう地域とやってのはすごくおっしゃっておられたように子どもたちも地域と一体となれるし、いざとなったら顔見知りにもなっておいたほうがいいです。地域の方でいろいろとこんなことあんなことを、さっき言うてはった三角巾を作るとか、そういったことを知ってはるような方だったら直接子どもたちに教えられる。学校の先生というのも別に防災のプロではありませんので、何でもかんでも知ってるわけじゃないので、だからお互いにちょっと顔見知りになったりとか子どもたちにも逆によい地域の活動を知ってもらったりとかいうことで、何かウィン・ウィンになれるようなことをやってはる地域もあったのはあったんです。同じ日に同じ場所で、小学校とかで地域と子どもたちがやってはる。例えば9時～10時まではそれぞれでやりますけど、10時ぐらいから一緒になってできることをやりましようかみたいな。学校のほうも、自分たちがやりたかった避難訓練とか、自分たちだけでどうしてもやりたいことはちゃんとやれるけども、その日の途中からは地域の方と一緒にやるとか、そんなようなことをやってたところもあるので、恐らく似たようなことをやってるよっていう地域もあるのかなと思うんですけど。皆さんのところはコラボレーションをやっているんですか。

○岡田部会長

海と緑は小中一貫校なので、そこで子どもと一緒にやらせていただいていますね。

○中川委員

子どもが地域に分かれて、その後ろに地域の人がつくという形で。その班ごとに訓練を回っていくという。

○玉置副区長

そうですね。敷津浦さんとか平林さんとか加賀屋東さんとか。

○濱島委員

私もやったよ。中学校へ行って、お手伝い、そういうのやったし。教えたんです。

○五十崎委員

平林のほうは、大がかりにはそういうのはないんですけども、土曜日授業のときに住民が一部参加して一緒にそういうことをやって、帰りは一緒に帰るという形で。という形はやってますけど、大がかりに防災訓練はやってない。ただ去年、小学校は来てないですけど、企業とタイアップして、うちとこの地元の企業が消防局とタイアップして「消防フェスタ」ということで、そこでその企業さんの子どもは来てるんですけど、小学校の子どももそこへ来て参加するという企画はあったんですけど、そこはまだ実現できてないんだけど、そういう企画はしてるんです。

○玉置副区長

そうなんです、なるほど。現状が知りたかったんで、ありがとうございました。

○岡田部会長

8時を過ぎましたので、終了したいと思います。

今日の会議内容につきましては、次の区政会議、先ほどもご説明ありました6月19日が区政会議の全体会議でございますので、そのときにまた報告を、この部会としての報告をさせていただくということになります。

まずはですね、これから事務局におかれましては、また今日の整理をしていただいて、もうぐちゃぐちゃ言いましたから整理がしにくいと思いますが、整理をしていただきまして全体会で報告できるように。それにつきましては、また私のほうから

説明をさせていただくということで一任をさせていただきたいと思います。

ということで、1年間部会長をやらせていただきまして、なかなか不慣れなことでしたけども、今日で終わるということになりました。長い間ありがとうございました。

○戸井防災安全担当課長

まだ全体会を。

○中川委員

まだ全体会がある。

○岡田部会長

全体会でしょ。だけど、この議論をすることが。

○戸井防災安全担当課長

岡田部会長、ありがとうございました。

本日は長時間にわたりまして、ご議論ありがとうございました。いただいたご意見をしっかりと受け止めまして、今後の区政に反映していけるよう取り組んでまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

本日の議論を踏まえまして、部会長よりご指示がございました全体会でのご報告資料というのを作りまして、事務局と部会長にそれを一任していただいてもよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○戸井防災安全担当課長

それでは、これで住之江区区政会議第1回防災・安全部会を閉会いたします。

本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。